

小学校生活科 各評価規準における具体的な児童の姿の想定

~「知識・技能」について~

西部教育局 お役立ち情報 令和6年11月号

4月から毎月書きためてきた 「思い出カード」を使って、い よいよ生活科の学習で「思 い出すごろく」をつくります。 すごろくが上手にできたら

「知識・技能」の 評価になるので **^/ ^/** しょうか。

「知識・技能」においては、

- ①気付きが自覚されること
- ②個別の気付きが相互に関連付くこと
- ③対象のみならず自分自身についての 気付きが生まれること を

気付きの質の高まりとして 見取ることが大切です。



単元の目標

第1学年 内容(9)「自分の成長」

書きためてきた「思い出カード」をもとに「思い出すごろく」をつくって遊ぶ活動を通 して,過去と現在の自分を比較し,自分自身が成長していることや様々な人が自分の 成長を支えてくれていることに気付くとともに、これからの期待をもって意欲的に生活 できるようにする。

> 価 規

小単元における評価規準は. 「指導と評価の一体化」のため の学習評価に関する参考資料の 「内容のまとまりごとの評価規準 (例)」及び「具体的な内容のま とまりごとの評価規準(例)」 (P73~)を参考にしてみてくだ さい。





*「知識・技能」のうち、技能に関する評価 規準については、学習指導要領解説 生活編(P13~14)をご参照ください。

知識·技能

単元の 書きためてきた「思い出カード」 をもとに「思い出すごろく」をつ 評価 くって遊ぶ活動を通して,自分自 規準 身が成長していることや様々な 人が自分の成長を支えてくれて いることに気付いている。

小単元にお	_	① Ⅰ年間の学校生活において,自分でできるようになったこと,役割が増えたことなどに気付いている。
h		

- ②友達と一緒に成長してきた自 分自身や自分の成長を喜ん でくれる友達の存在に気付 いている。
- ③優しい気持ち、友達や家族へ の思いやりなど,内面的な成 長に気付いている。

例) 観点:「知識・技能」 *「知識·技能」のうち,知識に関する評価規準(例)

①1年間の学校生活において、自分でできるようになったこと、 役割が増えたことなどに気付いている。

☆具体的な児童の姿☆



一つ一つの「思い出カード」を読み返しながら、頑張った自分の姿 を思い出している。



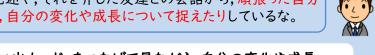
「思い出カード」に書かれた出来事について友達と話しながら、 できるようになったことを確かめ合っている。



初めての参観日,手を 挙げて発表できたよ。

幼稚園の頃は怖かったけど、小学校では 体育の時間にジャンプできたんだよ。

「思い出カード」の記述や、それを介した友達との会話から、頑張った自分 の姿を思い出したり、自分の変化や成長について捉えたりしているな。





複数の「思い出カード」をつなげて見ながら、自分の変化や成長 について捉えている。

ヤギの世話、初めは怖かったね。でも、ヤギランドで仲良くなれたな。



G児 N

だんだんお世話が上手 になったよね。そういえば. 昨日も発見したよ!エサ の食べ方を見ていると. ヤギがどれくらい元気か 分かるようになったんだ。

特にヤギの世話をしたことに関心 をもって、関連するカードを何枚か 並べながら友達と話し合っている な。ヤギと関わりながら世話の仕方 が分かっていったことを思い出して. カードに書き加えたりもしているな。



G児は、自分の変化や成長について捉えながら、できるようになったこと や役割が増えたことに気付いていると見取ることができます。さらに、 お世話のみならず、ヤギの食事に関する新たな気付きを書き加えて、 お世話が上手になった自分に気付いていると見取ることもできます。 このことから、「十分満足できる状態(A)」と判断することもできます。

